

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0025
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第389号

「教皇野外ミサ」日程決まる

11月24日に長崎市の県営野球場(ビックNスタジオ)で行われる「訪日教皇野外ミサ」の日程が決まりました。併せて参加費用、人数などが決まりました。

水巻教会からの御ミサ参加者は76名。このうち42名がバスを利用での参加となります。

日程は午前6時30分集合(人数確認のため時間厳守)

6時45分にはバスが、到着しますので、すぐに乗り込みます。7時、水巻教会を出発。午前11時に長崎県営野球場に到着予定です。水巻から長崎までの途中2度ほどのトイレ休憩を予定していますが、球場周辺での混雑が予想されるため、時間の余裕がありません。バス集合の時間には、時間厳守をお忘れなく…

11時到着後、バスを降りてからセキュリティ検査があります。果物ナイフなどの金属の持ち込みには注意しましょう。

教皇様の野外ミサ後帰路につきます。午後5時を予定しています。水巻教会到着は8時ごろになる予定です。

参加費用は大人1人4千円です。内訳はバス代3千円、弁当代1千円で

す。小学生以下は半額の2千円。夕飯はSAで個々をお願いします

参加費用は11月3日から集めます。岩本ナセさんか福田悦子さんに託してください。病気その他で、当日参加できない理由がある方は、岩本ナセさん(093-293-3516)まで連絡してください。(不在時は留守電に)

11月24日午後1時30分には大名町教会に大型ビジョンを設置、長崎でのミサに併せてミサの様子を放映するそうです。長崎の御ミサ同様、ご聖体もいただけるようなので、当日長崎へ行けない方は大名町に行かれては…

教皇とわたしたち	2面
李神父様命日祭	3面
加賀山隼人殉教ミサ	4面
教会学校より・ペルーから	5面
幼稚園から	6面
委員会報告	7面
お知らせ・今月の聖人	8面

教皇とわたしたち

谷口 尚志 神父

期待の高まる教皇フランシスコの来日。皆さんにとって今回の訪日には特別な思いがあると思います。38年前の1981年、当時の教皇であった故ヨハネ・パウロ2世の来日の際の思い出がよみがえる方や、今回初めて教皇と出会える喜びでいっぱいな方もいらっしゃるでしょう。わたし自身、1981年当時はまだ生まれておらず、故ヨハネ・パウロ2世とお会いしたことはありませんが、母が雪の降る中で長崎での教皇ミサにあずかった時の思い出を話してくれ、幼少の頃から、客間に飾ってあった会衆に向かって満面の笑みで手を振る教皇の姿をとらえた写真を見ながら、その優しい笑顔に幾度となく癒されてきたことを覚えています。「戦争は人間の仕業です!」と言われた言葉とも重なって、傷つけ、傷つけられる人間の姿に悲しむ神の姿を、教皇職を任せられた者の中に見てきたつもりです。

そんな神の姿を伝える教皇とわたしたちとはどのような関係があるのでしょうか。教皇は教会のなかであって、使徒ペトロの後継者としてキリストご自身から託された教会を導く責任を持つ方ですが、その教会とはキリストに聞き従うわたしたちすべてを指します。だからこそ、絆のうちにあって教皇とわたしたちとは親子のような関係があるのです。「パパ様!」と呼ぶのは自然なことなのです。

政治的な見方からすれば、ローマ法王やバチカンの国家元首、カトリック教会のリーダーなどと呼ばれますが、教会の信仰からすれば、聖ペトロの後継者として誰よりも人間への神のあわれみを知ろうとする方、誰よりも人間の弱さを知ろうとする方、誰よりも赦されることの喜びを知ろうとする方、誰よりもご自分を低くされた神の深い謙遜さを知ろうとする方として受け止められているのです。

11月24日、長崎で教皇とお会いする皆さんにお願いがあります。カトリック教会の一番偉い人とお会いするためだとか、ご利益がいただけるからだとか、そのような思いは置いていって下さい。必要なのはミサの中で教皇と共に神のあわれみを実感すること、罪に傾く人間のわざによって苦しむ世の中であって、神の救いを伝えるために祈ることです。教会の存在意義そのものをあらためて実感し、皆さんが日々出会う人々に証する勇気を持って帰ってきて下さることを願っています。

「ペトロ 李・昇炫神父様命日祭」

10月6日(日)小倉教会にて、(故)李昇炫神父様の命日祭が、司祭19名、助祭2名、神学生2名でおこなわれました。

李神父様のお母様をはじめ、親族の方々が参列し、小倉教会、門司教会、水巻教会等の信徒も約250名参加して、李神父様を偲ぶミサとなりました。

2人の神父様が説教をされました。最初はシン・グァンス神父様が李神父様との思い出を韓国語で語り、最後には「李神父様に逢いたい」と何度も話されていました。

次に谷口神父様が、「今、水巻教会で使っているカリスは、李神父様が使っておられた物。常に一緒にいる感覚です。病気を受け入れてからは穏やかになられ、自分の命が誰と繋がっているのか分かったと思います。誰と繋がっていなければならないか、教えてもらったと思います。命をキリストに返した李神父様と、キリストを通して繋がっています。私達は、教会を通して一致することが出来ます。私達の間にいるのは、キリストに繋がった命です。私達はキリストの中にある李神父様の命をこれからも大切にしていこうと思います。」と語りました。

私達水巻教会の信徒は、谷口神父様が語られえたように李神父様と繋がっていることを感じながら、李神父様の思いを心に留め、これからも信仰生活をおくって行きましょう。



福者 加賀山隼人 殉教 400 年記念ミサ に参加して

郷土小倉の福者 加賀山隼人が殉教してから 400 年となる今年、殉教 400 年記念ミサが 10 月 14 日に開催されました。水巻教会でもミサの前に福者ディエゴ加賀山隼人への祈りを唱え、この日を迎える準備をしてきました。

加賀山隼人は 1619 年 10 月 15 日に殉教しています。同じ日に加賀山隼人の従兄弟である福者 加賀山半左衛門とその息子ディエゴも大分 日出で殉教しています。そんな縁もあって大分教区長 パウロ浜口末男司教様をお迎えして記念ミサが行われました。250 名を超える信徒が参加しました。

ミサに先立って、御受難修道会の来住神父様の記念講演がありました。「殉教者とは何か」という視点からお話しされました。自ら死を望むことは殉教ではない。例えば天草の乱の天草四郎は殉教者ではない。「今がその時である。」との悟りのうちにイエスは死を受け入れた。キリストのように生き、キリストのように死ぬ。死においてイエス・キリストと似た者となったことを喜びをもって受け入れることがキリスト教的殉教の精髓である。殉教は人間が選ぶものではなく、神から与えられる恵みである。

では、殉教者からのメッセージをどう受け止めるか。次の世代に伝えていくことができなければ教会は衰えていく。「いずれ、そのうちに」ではなく、『今』、自分の力、命を使い尽くすことがキリスト者としての道。これが次世代に向けての種となる。「殉教者の血は、キリスト者の種である。」とのメッセージを伝えられました。

ミサは入祭の歌「一粒の麦が地に落ちて」から始まりました。信仰を証しすることは何かを考えながらミサに預かりました。





教会学校のページ



初聖体クラスの勉強スタート

10月より初聖体に向けてのお勉強が始まりました。なんと5名の女の子が、来年6月14日の御聖体の主日に初聖体のお恵みにあずかる予定です。毎回ミサ後にお御堂でお祈りをしてから、司祭館でテキスト、神父様が作成されたプリントをもとにお勉強を進めていきます。初聖体の日まで十分な準備期間をとっていますので、時には教会以外の場所での勉強？ゲーム？サプライズ？もあるかもしれません！(*~*)お楽しみに！

サポートする私たちも、初心に戻り改めて、ご聖体のお恵みに感謝していきたいと思います。子供たちが神聖なお祝いの当日に向けて喜びと希望をもって、過ごすことができるよう、皆様どうぞお祈りください。



St マリー中村からメッセージが届きました。

先日はいろいろとお世話になりました。谷口神父様、レプトン会の皆様、それにたくさんの信徒の皆様と一緒にミサに参加させていただき、ペルーのことを知っていただく機会を与えていただいたこと、なにより、岩本さんにお迎えからお昼の心配、お見送りまでしていただき、心より感謝いたします。懐かしい方たちにも思いがけず会うことができ、水巻教会での一日は忘れられないものになりました。

皆様のご健康と、教会のますますの発展。充実を感謝のうちに祈り続けます。どうぞ、引き続き、マリア・タキ保育園の子供たちの支えとなってくださいますよう、よろしくお願いいたします。感謝のうちに。

今、別府に来ております。 カリタス修道女会 シスターマリー中村



水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 11月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

<水巻聖母幼稚園>

10月5日(土)に大運動会が行われました。今年のテーマは『令和につながる わたくしたちのパワー』でした。

平成から令和へ。新しい時代が始まりました。平成に生まれた子ども達は、これからの未来に向かって歩んでいます。わたくしたちのパワーが世界の平和を築くことが出来るよう、邁進いたします。



10月19日(土)に行われた聖母バザーも大盛況のうちに終了いたしました。ご来園いただきました皆様、有難うございました。

【七五三祝福式】要予約

11月7日(木) 10:30~11:00

水巻聖母幼稚園 Tel:093 201 9559

未就園児のお友達、お待ちしております。e-mail: contactus@mizumakiseibo.ed.jp

<マリア子どもの家>

幼稚園の園庭は、運動会が近づくにつれ練習時間が増え、マリアの子ども達は畑に行く回数が多くなりました。コスモスや芋の葉についているテントウムシやバッタを見つけたり、ダンゴムシをつまんだり、シジミチョウに目を奪われました。レモンの樹のアゲハの幼虫が黒色から緑色になるのも観ました。



思いがけなく、土から出ているお芋を見つけ、掘ってみると、大きなお芋が出てきました。みんなで触り、おやつ時間に洗って蒸して、頂きました。

柿の実も橙色になってきました。畑もお庭も、空も、秋でいっぱいになってきました。その中でたくさん遊びます。

Tel: 050 5212 7759

HP: 水巻町マリア子どもの家

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 シスター松川明子・職員 一同

委員会等報告

2019年10月分

10月度小教区委員会 10月13日

1. 行事予定

- ・11月 1日(金) 諸聖人ミサ
9:30～19:30～
- ・11月 2日(土) 死者の日ミサ
9:30～19:30～
- ・11月 3日(日) ミサ後、結婚式
- ・11月 4日(月) 神学院祭(教会学校)
- ・11月10日(日) 七五三お祝い
小教区役員会
- ・11月17日(日) 大掃除
- ・11月24日(日) 訪日教皇ミサ in 長崎
- ・12月 1日(日) 小教区委員会
馬小屋飾り付け
- ・12月 6日(金) 共同回心式
10:00～19:30～
- ・12月 8日(日) 黙想会

2. 議題

(1) 各委員会報告

①広報委員会より

- ・サークル紹介記事を挙げる予定
- ・福岡教区として、熊本復興ボランティアが終了する。ただし、有志でボランティア活動を継続したい。組織は常設ではなく、何かあったら都度対応、検討する

②典礼委員会より

- ・クリスマス典礼

去年通りの方針。メッセージをパンフレットに載せる。詳細は11月に決定する

- ・結婚式の連絡順確定

神父様⇒田中敏⇒お花を活ける会など

- ・諸聖人ミサ 夜ミサの必要性
従来通り、夜ミサ実施する。

③納骨堂委員会より

- ・換気扇工事完了
- ・死者のミサでお祈り(名前を挙げて)を挙げて欲しい(要望。本人は交通の便、困難でミサに来られない)⇒地区委員で声をひらいて欲しい

④宣教委員会より

- ・11月24日訪日教皇野外ミサ仔細連絡
於：長崎県営野球場
おんが観光バスを手配、バス利用：42名

⑤営繕委員会より

- ・司祭館のエアコンが故障。交換しました。
- ・駐車場ブロック塀改修,パーキングブロック設置で依頼予定⇒隣住民と協議し、工事詳細を見直し。ブロックは下2段のみ残して撤去する。101,560円(税別)隣家と折半。壁が見えなくなるので車止めを設置。83,000円(税別) 教会が負担

(2) その他

- ・佐賀豪雨支援募金
19,650円集りました。教区へ送金
- ・子供用おもちゃの寄付がありました
聖堂泣き部屋に置きました
- ・駐車場に幼稚園バス用の屋根(カーポート)を設置



★諸聖人ミサ★

日 時：11月1日(金)

9時30分～ 19時30分～

★死者の日ミサ★

日 時：11月2日(土)

9時30分～ 19時30分～

死者の追悼の祈り(ミサ)を行います。色紙や用意してある紙に亡くなられた祈願者の名前を書いて、箱の中に入れてください。

★特別献金★

9月29日 世界難民移住移動者の日献金
35,000円

ご協力、ありがとうございました。

★九州北部豪雨支援献金★

19,650円

ご協力、ありがとうございました。福岡教区に送りました。

★訪日教皇ミサ★

日 時：11月24日(日) 13:30～

場 所：長崎県営球場

詳しい内容は、1面に載せています。ご覧ください。

★ローマ教皇来日記念企画展★

教皇来日に合わせて、大名町教会で「ローマ教皇来日記念企画展」が10月19日から12月3日まで開かれます。パパ様の写真やメッセージ、直筆の手紙などが展示されます。また、38年前のヨハネ・パウロ2世来日の記事・関連グッズも陳列されます。

★紙面について★

今月号から今までの紙面と記事の配置を変えています。1面の目次を参照して読みたい記事を探してください。

また、今月号の「活水」は、紙面の関係上お休みします。



今月の聖人 29日 聖セルニン殉教者(トゥールーズ)

セルニンは、ローマで生まれ、245年ころ教皇ファビアノからスペインのパンブローナに派遣されました。そこからフランスのアルスに渡り、司教のもとで宣教に従事しました。その後トゥールーズの司教に任命され、説教によって多くの人びとを信仰に立ち返らせました。しかし、トゥールーズのキリスト教でない神殿の祭司たちは、人びとがセルニンの建てた教会にお金を寄付することで、彼に反感を持つようになりました。そして、ついにセルニンは、祭司たちに殺されました。

今日、トゥールーズの聖セルニン教会は、フランスで最も大きいロマネスク建築の教会です。セルニンの遺骨は、1746年に作られた墓のブロンズの雄牛の上に安置されています。



「からしだね」の由来となった聖書の箇所

マタイ13章31節、マルコ4章30節、ルカ13章18節